

2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月7日

上場会社名 株式会社ランシステム 上場取引所 東  
 コード番号 3326 URL https://www.runsystem.co.jp/  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日高 大輔  
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役 (氏名) 面高 英雄 (TEL) 045(594)6411  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月23日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月19日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	5,430	0.4	173	38.3	106	△4.8	101	134.5
2025年3月期	5,408	△26.6	125	△1.4	111	15.9	43	△56.5

(注) 包括利益 2026年3月期 101百万円(134.5%) 2025年3月期 43百万円(△56.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	23.95	—	37.6	2.7	3.2
2025年3月期	10.21	—	21.9	2.9	2.3

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 一百万円 2025年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	4,177	321	7.7	75.67
2025年3月期	3,798	219	5.8	51.73

(参考) 自己資本 2026年3月期 321百万円 2025年3月期 219百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	306	△388	101	881
2025年3月期	249	△402	△135	862

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日~2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	△11.6	180	3.5	130	21.9	110	8.1	25.88

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数

2026年3月期	4,380,900株	2025年3月期	4,380,900株
2026年3月期	130,490株	2025年3月期	130,490株
2026年3月期	4,250,410株	2025年3月期	4,250,410株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(連結損益計算書) .....	7
(連結包括利益計算書) .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(表示方法の変更) .....	11
(会計上の見積りの変更) .....	11
(追加情報) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、物価上昇や不安定な国際情勢など、先行き不透明な状況が続いておりますが、個人の消費回復やインバウンド需要の高まりによって経済環境は緩やかな回復基調が続いております。サービス業・アミューズメント業界においても、物価高や光熱費等のコスト上昇の影響はあるものの、人流回復に伴う緩やかな回復基調が継続しております。

このような経営環境のもと、当社グループは「基本の徹底」「コスト最適化」「チームの再構築・人財強化」に注力し、既存の主力事業であるエンターテインメント事業ではサービス業としての基本である「清掃・接客」を軸に、安心安全健全な運営を継続していくことに加え、顧客満足度向上の為の店舗改装、お客様目線での店舗別サービス提供を現場スタッフ主導ですすめているほか、システム事業におけるチームの再構築、人財強化を行い、新規取引先を拡大していくための新規商材開発・営業強化等に努めて参りました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高5,430百万円(前年同期比0.4%増)、営業利益173百万円(前年同期比38.3%増)、経常利益106百万円(前年同期比4.8%減)、親会社株主に帰属する当期純利益101百万円(前年同期比134.5%増)となりました。

セグメントごとの状況は次のとおりであります。

#### <エンターテインメント事業>

当事業につきましては、当社及び当社子会社の株式会社ランセカンドによる複合カフェ「スペースクリエイティブ自遊空間」チェーン直営店舗の運営をメインとし、安心安全健全な運営を行っております。店内設備においては、お客様のニーズの高いコンテンツの積極的な導入を進めております。また、自遊空間のフランチャイズ店舗のサポート業務も行っております。その他、自遊空間店舗で利用している商材の外部への販売や店舗を利用した広告掲出、社員研修・スタッフ研修の外部への販売、新たな収益源となりうる新規事業開発を進めております。

以上の結果、当連結会計年度末時点では、グループ店舗数81店舗(直営店舗35、FC加盟店舗46)となり、当セグメント全体の売上高は3,138百万円(前年同期比2.5%減)、セグメント利益は267百万円(前年同期比42.0%増)となりました。

#### <システム事業>

当事業につきましては、注目度の高いセルフ化システムやテレワーク環境を支援するシステムなどの各種システムの販売及び保守、管理業務を行っているほか、新しい商材の開発や新規顧客開拓も進めております。また、当社の親会社であるAOKIホールディングスのグループ会社が展開する店舗へのセルフ化システム、PC関連部材等の導入を進めております。

以上の結果、当セグメント全体の売上高は2,207百万円(前年同期比5.0%増)、セグメント利益は184百万円(前年同期比24.4%増)となりました。

#### <不動産事業>

当事業につきましては、不動産賃貸物件の適切な管理に注力し、おおむね計画通りの売上推移となりました。

以上の結果、当セグメント全体の売上高は84百万円(前年同期比1.0%減)、セグメント利益は54百万円(前年同期比8.4%減)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における流動資産は1,603百万円となり、前連結会計年度末に比べ169百万円増加しました。これは主に、商品及び製品が71百万円、売掛金が65百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は2,573百万円となり、前連結会計年度末に比べ209百万円増加しました。これは主に敷金が19百万円減少した一方、リース資産(純額)が75百万円、建物及び構築物(純額)が61百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総資産は、4,177百万円となり、前連結会計年度末に比べ378百万円増加しました。

流動負債は1,752百万円となり、前連結会計年度末に比べ681百万円増加しました。これは主に1年内返済予定

の長期借入金が369百万円減少した一方、短期借入金が1,000百万円、買掛金が69百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は2,103百万円となり、前連結会計年度末に比べ404百万円減少しました。これは主にリース債務が51百万円、資産除去債務が12百万円増加した一方、長期借入金が409百万円、長期未払金が42百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、3,855百万円となり、前連結会計年度末に比べ277百万円増加しました。

当連結会計年度末における純資産合計は321百万円となり、前連結会計年度末に比べ101百万円増加しました。これは親会社株主に帰属する当期純利益101百万円の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は7.7%(前連結会計年度末は5.8%)となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ18百万円増加し、881百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は306百万円(前連結会計年度は249百万円の収入)となりました。これは主に、減価償却費242百万円、税金等調整前当期純利益111百万円等により資金が増加したことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は388百万円(前連結会計年度は402百万円の支出)となりました。これは主に、敷金の回収による収入37百万円等により資金が増加した一方、有形固定資産の取得による支出305百万円、無形固定資産の取得による支出80百万円等により資金が減少したことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は101百万円(前連結会計年度は135百万円の支出)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出2,279百万円等により資金が減少した一方、長期借入れによる収入1,500百万円、短期借入れによる収入1,000百万円等により資金が増加したことによるものであります。

#### (4) 今後の見通し

当社の2027年3月期業績見通しにつきまして、一時期の非常に厳しい経営環境から完全に脱却し、再度大きく成長していくため、収益率が改善されてきたエンターテインメント事業と、リアル店舗運営で培ったノウハウを活かしたシステム事業で収益をあげ、コストマネージメントで安定した財務基盤を構築しつつ、様々なチャレンジを積極的に進めて参ります。

そのため、2027年3月期の業績は、売上高4,800百万円、営業利益180百万円、経常利益130百万円、親会社株主に帰属する当期純利益110百万円となる見込みです。

##### <エンターテインメント事業>

当事業においては、サービス業としての基本である「清掃・接客」を軸に、安心安全健全な運営を継続していくことに加え、新規顧客の開拓、既存顧客の再訪促進、顧客満足度を高める店舗改装、インバウンド需要の取り込みを進めて参ります。

また、前期より展開している完全セルフ型オンラインダーツ店舗「Smart Darts」の出店を加速するとともに、直営店舗を支援するサポートセンターでは、遠隔接客BPOを核とした新たな収益基盤の確立に取り組みます。さらに、顔認証システムやAIなどの先端技術の導入、レーシングシミュレーターをはじめとする新規コンテンツの開発・導入など、新たな挑戦にも積極的に取り組んで参ります。

##### <システム事業>

当事業では、各種システムの保守・管理業務や「自遊空間」フランチャイズ店舗へのサポートを通じて安定的な収益を確保するとともに、AOKIホールディングスのグループ会社が運営する店舗へ省人化システムやPC関連部材を導入し、グループシナジーの最大化を図ります。さらに、リアル店舗で培ってきたノウハウを注ぎ込んだ独自システムに加え、新たなシステム商材の開発にも積極的に取り組み、多様な業態へ販路を拡大して参ります。

また、持続的な成長を支えるため、人員の増強と人材育成にも注力し、資本業務提携を結んだ株式会社GSSLABをはじめとするパートナー企業との協業により、開発体制を一層強化・拡大します。さらに、2027年3月期から開始する「パートナー企業制度 (SIPP)」を活用し、販売チャネルの拡充と相互成長が可能なチームづくりを推進して参ります。

##### <不動産事業>

当事業においては、不動産賃貸物件の適切な管理に注力し、当期並みの収益を見込んでおります。

今後も当社は新規事業の開発・出店に注力し、新たな事業をエンターテインメント事業、システム事業に続く主力事業として成長させるべく努めて参ります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は日本基準を継続適用しており、当面のところ変更の予定はありません。

### 3. 連結財務諸表及び主な注記

#### (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	862,662	881,259
売掛金	342,105	407,900
商品及び製品	115,235	186,865
原材料及び貯蔵品	14,330	13,451
その他	103,181	118,578
貸倒引当金	△3,102	△4,221
流動資産合計	1,434,413	1,603,834
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,742,972	2,760,773
減価償却累計額	△1,625,040	△1,581,636
建物及び構築物(純額)	1,117,931	1,179,136
車両運搬具及び工具器具備品	807,850	696,017
減価償却累計額	△739,882	△585,239
車両運搬具及び工具器具備品(純額)	67,967	110,778
リース資産	284,596	429,717
減価償却累計額	△83,696	△152,846
リース資産(純額)	200,900	276,871
土地	364,014	364,014
建設仮勘定	25,168	32,912
有形固定資産合計	1,775,982	1,963,712
無形固定資産		
のれん	—	8,156
ソフトウェア	44,789	92,453
ソフトウェア仮勘定	11,020	14,668
無形固定資産合計	55,809	115,279
投資その他の資産		
長期貸付金	2,756	2,028
敷金	465,039	445,981
繰延税金資産	16,724	310
その他	60,440	57,910
貸倒引当金	△12,772	△11,815
投資その他の資産合計	532,188	494,415
固定資産合計	2,363,980	2,573,407
資産合計	3,798,394	4,177,242

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	167,072	236,879
短期借入金	—	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	560,941	191,040
リース債務	61,567	94,078
未払法人税等	7,272	7,223
賞与引当金	21,198	37,850
資産除去債務	7,300	1,500
その他	245,704	183,590
流動負債合計	1,071,055	1,752,161
固定負債		
長期借入金	1,803,809	1,393,959
リース債務	169,171	221,129
長期未払金	92,646	50,264
資産除去債務	290,506	302,900
繰延税金負債	28,907	14,674
その他	122,434	120,508
固定負債合計	2,507,475	2,103,435
負債合計	3,578,530	3,855,597
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	236,430	236,430
利益剰余金	△23,939	77,841
自己株式	△92,627	△92,627
株主資本合計	219,863	321,645
純資産合計	219,863	321,645
負債純資産合計	3,798,394	4,177,242

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	5,408,416	5,430,297
売上原価	4,382,218	4,310,931
売上総利益	1,026,197	1,119,366
販売費及び一般管理費	900,426	945,471
営業利益	125,771	173,895
営業外収益		
受取利息及び配当金	573	1,535
販売手数料収入	3,108	2,537
物品売却益	6,697	2,625
受取保険金	6,879	2,512
受取損害賠償金	12,373	434
その他	3,286	171
営業外収益合計	32,919	9,816
営業外費用		
支払利息	39,864	45,684
商品廃棄損	6,738	—
支払手数料	—	30,247
その他	122	1,157
営業外費用合計	46,725	77,089
経常利益	111,964	106,622
特別利益		
固定資産売却益	892	10
受取立退料	—	73,812
その他	—	973
特別利益合計	892	74,796
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	581	8,788
減損損失	6,168	47,250
店舗閉鎖損失	29,942	13,199
その他	—	762
特別損失合計	36,693	70,001
税金等調整前当期純利益	76,164	111,416
法人税、住民税及び事業税	7,438	7,454
法人税等調整額	25,317	2,180
法人税等合計	32,755	9,634
当期純利益	43,408	101,781
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	43,408	101,781

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	43,408	101,781
包括利益	43,408	101,781
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	43,408	101,781
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	100,000	236,430	△67,348	△92,627	176,454	176,454
当期変動額						
親会社株主に帰属する当期純利益			43,408		43,408	43,408
当期変動額合計	—	—	43,408	—	43,408	43,408
当期末残高	100,000	236,430	△23,939	△92,627	219,863	219,863

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	100,000	236,430	△23,939	△92,627	219,863	219,863
当期変動額						
親会社株主に帰属する当期純利益			101,781		101,781	101,781
当期変動額合計	—	—	101,781	—	101,781	101,781
当期末残高	100,000	236,430	77,841	△92,627	321,645	321,645

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	76,164	111,416
減価償却費	193,892	242,073
減損損失	6,168	47,250
のれん償却額	—	1,077
固定資産売却損益 (△は益)	△892	△10
固定資産除却損	581	8,788
賞与引当金の増減額 (△は減少)	21,198	16,652
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,341	161
受取利息及び受取配当金	△573	△1,535
支払利息	39,864	45,684
店舗閉鎖損失	29,942	13,199
売上債権の増減額 (△は増加)	45,256	△65,794
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△15,257	△70,751
仕入債務の増減額 (△は減少)	△40,528	69,807
その他	△74,440	△69,311
小計	283,719	348,709
利息及び配当金の受取額	549	1,535
利息の支払額	△38,028	△36,484
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△8,624	△7,504
賠償金の受取額	12,373	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	249,989	306,256
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△249,059	△305,235
有形固定資産の売却による収入	892	10
無形固定資産の取得による支出	△32,227	△80,857
資産除去債務の履行による支出	△202,240	△12,034
投資有価証券の取得による支出	△1,000	—
敷金及び保証金の差入による支出	—	△29,700
敷金の回収による収入	84,301	37,151
長期預り金の返還による支出	△5,520	—
その他	2,371	1,775
投資活動によるキャッシュ・フロー	△402,483	△388,891
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	1,000,000
長期借入れによる収入	—	1,500,000
長期借入金の返済による支出	△45,098	△2,279,751
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△51,378	△75,793
割賦債務の返済による支出	△39,504	△43,224
財務活動によるキャッシュ・フロー	△135,980	101,231
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△288,474	18,597
現金及び現金同等物の期首残高	1,151,136	862,662
現金及び現金同等物の期末残高	862,662	881,259

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の分配の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

なお、セグメント資産及び負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象としていないため、記載しておりません。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	エンターテインメント事業	システム事業	不動産事業	計		
売上高						
施設利用料収入	2,952,480	—	—	2,952,480	—	2,952,480
外販収入	268,053	2,102,712	—	2,370,766	—	2,370,766
賃料収入	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	3,220,533	2,102,712	—	5,323,246	—	5,323,246
その他の収益	—	—	85,169	85,169	—	85,169
外部顧客への売上高	3,220,533	2,102,712	85,169	5,408,416	—	5,408,416
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	4,699	—	4,699	△4,699	—
計	3,220,533	2,107,412	85,169	5,413,115	△4,699	5,408,416
セグメント利益	188,199	148,453	59,643	396,297	△270,525	125,771
その他の項目						
減価償却費	175,752	7,851	5,547	189,151	4,741	193,892
のれんの償却額	—	—	—	—	—	—

(注) 1. セグメント利益の調整額△270,525千円は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	エンターテインメント事業	システム事業	不動産事業	計		
売上高						
施設利用料収入	2,873,662	—	—	2,873,662	—	2,873,662
外販収入	264,783	2,207,524	—	2,472,307	—	2,472,307
賃料収入	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	3,138,446	2,207,524	—	5,345,970	—	5,345,970
その他の収益	—	—	84,326	84,326	—	84,326
外部顧客への売上高	3,138,446	2,207,524	84,326	5,430,297	—	5,430,297
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	4,190	—	4,190	△4,190	—
計	3,138,446	2,211,714	84,326	5,434,487	△4,190	5,430,297
セグメント利益	267,267	184,628	54,644	506,540	△332,645	173,895
その他の項目						
減価償却費	212,228	11,238	14,044	237,512	4,561	242,073
のれんの償却額	1,077	—	—	1,077	—	1,077

(注) 1. セグメント利益の調整額△332,645千円は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上収益	関連するセグメント
(株)快活フロンティア	371,284	エンターテインメント事業
	1,564,556	システム事業

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上収益	関連するセグメント
(株)快活フロンティア	425,589	エンターテインメント事業
	1,770,236	システム事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	エンターテインメント事業	システム事業	不動産事業	計		
減損損失	6,168	—	—	6,168	—	6,168

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	エンターテインメント事業	システム事業	不動産事業	計		
減損損失	47,250	—	—	47,250	—	47,250

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	エンターテインメント事業	システム事業	不動産事業	計		
当期償却費	1,077	—	—	1,077	—	1,077
当期末残高	8,156	—	—	8,156	—	8,156

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	51円73銭	75円67銭
1株当たり当期純利益	10円21銭	23円95銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	43,408	101,781
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	43,408	101,781
普通株式の期中平均株式数(株)	4,250,410	4,250,410

(重要な後発事象)

該当事項はありません。